

令和4年6月
補正予算

7つの道標

令和4年度は、4月に町長選挙と町議会議員選挙が控えていたため、政策的経費や投資的経費を抑えた「骨格予算」でスタートしました。6月定例会で山添町長から町政運営の方向性を示す施政方針とともに、関連する補正予算案を提案。すべての補正予算案と追加で提案した新型コロナウイルス感染症対策予算（原油価格・物価高騰対応分）が承認されましたので、その内容と主な事業についてお知らせします。



町ホームページ

01 新型コロナウイルス感染症から命と生活を守る

- 新型コロナワクチン接種事業 5,003万円

町民の生命と健康を守るために、各医療機関での個別接種と集団接種による4回目の新型コロナワクチン接種を実施する。

- 新型コロナウイルス感染症 PCR検査助成 30万円

新型コロナウイルス感染症の無症状の方が、PCR検査を受けた場合に検査費を補助する。※1回につき上限3,000円

- 子育て世帯生活支援特別給付金（国交付金） 791万円

物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給する。※1世帯あたり5万円

02 経済成長を実現する

- 農地保全推進事業（府交付金） 519万円

京都府の「集落連携100ha農場づくり事業」を活用し、収益力強化を目的としたボイラーやトラクターなどの整備を支援する。

- クラウドファンディング活用ビジネス応援事業 150万円

中小企業・小規模企業等が新たに計画する持続可能な地域経済の構築と課題解決に資する事業について、町のクラウドファンディング型ふるさと納税制度を活用する場合に、事業費の一部を補助する。

03 多様な交流を促進する

- 移住定住支援事業 785万円

町内への移住者に対して各種補助金を交付する。

04 安心安全を実現する

- 出産準備支援金制度 900万円

町内で出産・子育てる世帯の経済的負担を軽減するため、1児につき10万円を支給する。

- 福祉人材支援事業 24万円

介護人材の確保が課題となっている中、外国人技能実習生を受け入れる事業所に対して、住宅家賃相当額の一部を補助する。

- 河川維持管理事業・改修事業 1億600万円

河川の浚渫、浸水対策として鞭谷川（石川）、明石川（明石）、堤谷川（岩屋）の河川改修工事等を実施する。

新型コロナウイルス感染症対策 原油価格・物価高騰対応分

生活者支援

▶ 水道料金の負担軽減 3,840万円

全契約者の水道料金の基本料金を月500円減額
※8月請求分～令和5年3月請求分

▶ 子育て世帯への支援金 2,874万円

与謝野町在住で18歳以下（平成16年4月2日以降生まれ）の児童一人当たり1万円を給付

▶ 学校給食費の負担軽減 285万円

物価高騰に伴う学校給食費の保護者負担を軽減するため、物価高騰分を交付金で補う

事業者支援

▶ 事業所に対する支援 6,000万円

事業継続している中小企業および小規模事業者が支払った電気料金と燃料費の一部を支援
【補助率】10分の3以内
【上限額】中小企業20万円、小規模10万円
【対象期間】令和4年4月1日～12月31日

▶ 農業者に対する経営支援 1,449万円

与謝野町産地経営構造改革方針に位置づけられた担い手農家に対し、肥料高騰への支援

05 与謝野力の向上を実現する

- 文化財保存・活用事業 1,614万円

国の交付金を活用して地域の伝統行事に必要な用具の修理等を実施する際、交付金が交付されるまでの間、資金の貸し付けを行う。



06 持続可能な環境を実現する

- 町道維持補修事業 600万円

菩提寺線（下山田）、小虫神社線（温江）、明石香河線（明石）等の修繕工事を実施する。



- 地域づくり支援事業 380万円

法人・団体等が取り組む地域課題解決型地域づくり事業について、町のクラウドファンディング型ふるさと納税制度を活用して実施する場合に、事業費の一部を補助する。



07 前向きな町役場を実現する

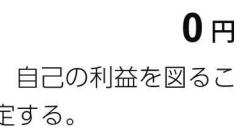
- 社会的弱者に対する総合的支援 0円

町として総合的な取り組みや支援に向けて、プロジェクトチームを組織し議論を開始する。



- 政治倫理条例の制定 0円

町長等が自己の地位による影響力を行使して、自己の利益を図ることのないよう必要な措置を規定した条例を制定する。



数字で見る与謝野町 >>> 財政調整基金

令和4年度予算（6月補正予算後）では、地方公共団体の貯金にあたる「財政調整基金」から一般会計に4億2,100万円繰り入れています。

昨年度（当初予算）と比較して2,400万円減少していますが、例年4～5億円程度繰り入れる予算編成としており、令和4年度末には残高が約12億円になると見込んでいます。歳出を極力抑制することで、決算時にはなるべく基金を取り崩さないよう努めます。

